

米国アカデミー賞公認 アジア最大級の国際短編映画祭 東京発ショートフィルムの祭典

ショートショート フィルムフェスティバル &amp; アジア 2025

サイバーエージェントとともに

「サイバーエージェント縦型アワード」を創設

～縦型コンテンツの「震源地」へ

新時代の映像表現に光を当てる【縦型アワード】が誕生～

高い効果と表現力を発揮した、**縦型ショートフィルム**に贈られる**Newアワード新設**サイバーエージェント  
縦型アワード

CyberAgent Vertical Award

米国アカデミー賞公認・アジア最大級の国際短編映画祭、ショートショート フィルムフェスティバル & アジア（略称：SSFF & ASIA）2025は、株式会社サイバーエージェント（本社：東京都渋谷区、代表取締役：藤田晋、東証プライム市場：証券コード4751、以下サイバーエージェント）と共に、新たに縦型動画に特化した【サイバーエージェント 縦型アワード（英語：CyberAgent Vertical Award）】を創設いたします。本アワードは、今や日常の映像体験の主流となりつつある“縦型コンテンツ”に特化し、ショートドラマやSNS動画などにおいて高い効果・表現力を発揮した優れた作品・団体・プロジェクトを表彰するものです。

映像視聴の形がスマートフォンを中心に劇的に変化する中、縦型コンテンツは情報伝達・エンタメの新たなスタンダードとして急速に台頭しています。サイバーエージェントは、この“縦型”の可能性に早くから着目し、動画広告や縦型ショート動画広告に特化した専門組織の立ち上げ・運用や、ショートドラマ制作会社との協業を通じて、企業のマーケティング活動を支援してきました。さらに、「極AIお台場スタジオ」に象徴されるように、高度なAI研究開発技術とクリエイティブの融合によって、時代のトレンドに即した多様な広告・エンターテインメントの創出にも取り組んでいます。

このような取り組みを行うサイバーエージェントとともに、SSFF & ASIAを「縦型コンテンツの震源地」と位置づけ、縦型動画市場のさらなる発展とクリエイティブ表現の幅、人材・文化のさらなる成長を目指し、本アワードを新設しました。

アワードセレモニーでプレゼンターとして登壇するのは映画監督 岩井俊二さんと株式会社サイバーエージェント エンターテインメントプロデューサー 局長・プロデューサー 安藤 達也 さん。YouTubeチャンネル岩井俊二映画祭を中心にデジタル領域でサイバーエージェントとタッグを組んで活動されている岩井俊二さんからアワードを授与します。

また、安藤達也さんより今後のサイバーエージェントの縦型動画プロジェクトの発表を行います。映像表現に革新をもたらし続ける両氏が、「縦型動画」という新たな潮流の震源地として、アワード発表の場を華やかに彩ります。

## 【サイバーエージェント縦型アワード】について

### ● 目的

サイバーエージェントとSSFF & ASIAで“縦型コンテンツ”の集積地となる新たなアワードを設立し、縦型動画クリエイティブの未来を創出する場とします。

### ● 表彰対象

縦型動画にて「高い効果・表現力」を発揮したクリエイティブ作品（ショートドラマ、ブランデッドムービー等）。

特に、創造性やメッセージ性、映像表現の革新性を有する国内作品・団体・プロジェクトを対象とします。

### ● 受賞内容

賞金：50万円

副賞：極AIお台場スタジオ体験ツアー & スタジオを使用した作品制作権

「**極AIお台場スタジオ**」は、サイバーエージェントが所有する、AIや3DCGを活用し広告効果の最大化に特化したクリエイティブ制作スタジオ。特徴の異なる3台のLEDウォールや高品質なボリュメトリックキャプチャが可能な4Dスキャン、編集室、収録室などの最先端設備を完備。



後日、アワードのファイナリストとなるノミネート作品・団体・プロジェクトを発表いたします。2025年6月11日（水）に行われるSSFF & ASIA 2025 アワードセレモニーにて受賞作を発表します。本アワードを通じて、株式会社サイバーエージェントは縦型コンテンツ文化の発展と、新たな映像体験の創出に挑戦し続けます。

## <SSFF & ASIA 2025 6/11 アワードセレモニー プレゼンター>



**岩井俊二**（映画監督）

1963年、宮城県出身。1988年よりドラマやミュージックビデオ等、多方面の映像世界で活動を続け、その独特な映像は“岩井美学”と称される。1995年『Love Letter』で長編映画監督デビュー。代表作は『スワロウテイル』『リリィ・シュシュのすべて』『花とアリス』『ヴァンパイア』『ラストレター』等。2012年、東日本大震災の復興支援ソング「花は咲く」の作詞を手がける。『花とアリス殺人事件』では長編アニメ作品に挑戦、国内外で高い評価を得る。2023年10月『キリエのうた』を公開。国内外を問わず、多彩なジャンルでボーダーレスに活動している。

### 【コメント】

ぼく自身も、これまでに縦型の作品を2つ作りました。キャストの配置の仕方など、縦型ならではの苦労があると共に、縦だからこそのおもしろさや美しさもありました。過去描かれて来た名画を考えればその多くは縦構図だったわけで、縦型作品が今までなかった方が不思議な話で。日本にも掛軸文化がありますが、あれなどは極限の縦型構図です。今後、縦型でどんな観たことのない作品が生まれるのか、ぼく自身も楽しみにしているところです。



**安藤 達也**（株式会社サイバーエージェント エンターテインメントプロデュース局 局長・プロデューサー）

1983年、兵庫県出身。2007年よりサイバーエージェント入社。クリエイティブ局コピーライター、コミュニケーションプランニング局プランナーを経て、クリエイティブ局局長・クリエイティブディレクター、エンタメプロデュース局局長・プロデューサー。主な作品に、ネスレ日本『カメラを止めるな！ハリウッド大作戦』、リクルート『フィッシャーズのバラエティ革命TV』、オペレーティング『ミッドナイト☆ミッドスター』他、エンタメ作品や広告クリエイティブを数多く手がける。



## 【ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2025 概要】

- 映画祭代表：別所 哲也
- 開催期間：  
4月24日（木）～6月30日（月）オンライン会場  
※期間により配信プログラムが異なります。  
5月28日（水）オープニングセレモニー  
5月29日（木）～6月10日（火）東京会場  
6月11日（水）アワードセレモニー
- 上映会場：TAKANAWA GATEWAY CITY、表参道ヒルズ スペースオー、赤坂インターシティコンファレンス、WITH HARAJUKUほか  
※会場により、期間、プログラムが異なります。
- チケット：上映会場、オンライン会場ともに有料、一部イベントは無料  
販売開始は4月24日（木）14:00～  
※オープニングイベントは同日 18:00～
- 一般からのお問い合わせ先：[info@shortshorts.org](mailto:info@shortshorts.org)
- オフィシャルサイト：<https://www.shortshorts.org/2025>  
※2025年のラインナップは4月24日（木）に公開
- 主催：ショートショート実行委員会 / ショートショート アジア実行委員会



## 【ショートショート フィルムフェスティバル & アジア



米国俳優協会（SAG）の会員でもある俳優 別所 哲也が、米国で出会った「ショートフィルム」を、新しい映像ジャンルとして日本に紹介したいとの想いから1999年にアメリカン・ショート・ショートフィルムフェスティバル創立。2001年には名称を「ショートショート フィルムフェスティバル（SSFF）」とし、2004年に米国アカデミー賞公認映画祭に認定されました。

また同年、アジア発の新しい映像文化の発信・新進若手映像作家の育成を目的とし、同年に「ショートショート フィルムフェスティバル アジア（SSFF ASIA 共催：東京都）」が誕生し、現在は「SSFF & ASIA」を総称として映画祭を開催しています。

2018年に映画祭が20周年を迎えたことを記念し、グランプリ作品はジョージ・ルーカス監督の名を冠した「ジョージ・ルーカス アワード」となりました。2019年1月には、20周年の記念イベントとして「ショートショートフィルムフェスティバル in ハリウッド」が行われ、また、2019年の映画祭より、ライブアクション部門（インターナショナル、アジアインターナショナル、ジャパンの各カテゴリー）およびノンフィクション部門の各優秀賞4作品が、2022年からはアニメーション部門の優秀賞を含む5作品が、翌年のアカデミー賞短編部門へのノミネート候補とされる権利を獲得しました。SSFF & ASIAは映画祭を通じて引き続き、若きクリエイターを応援してまいります。

【公式ウェブサイト】<https://www.shortshorts.org>

### 【本件に関するお問い合わせ先】

ショートショート フィルムフェスティバル & アジア PR事務局（株式会社サニーサイドアップ内）  
阿部、武田

TEL：03-6894-3200 / FAX：03-5413-3050 / E-mail：[SSFF@ssu.co.jp](mailto:SSFF@ssu.co.jp)

ショートショート実行委員会 担当：田中 TEL：03-5474-8201 / FAX：03-5474-8202 / E-mail：  
[press@shortshorts.org](mailto:press@shortshorts.org)

画像は下記よりダウンロードいただけます

<https://drive.google.com/drive/folders/11JOCNefb5ieFB2S0QJs3sQOCK9wKFtag?usp=sharing>